

ファイナルチャプター

歪められし不凋花

妹は、自らの右手の親指に歯を立てた。

そこから滲むは、亜神に流れる〈薄暮の血〉。

「これは見せしめ。こんなになんばって世界を維持しているのに、邪魔しようとする人たちがもう出てこないように」

妹に胸元を掴まれた反逆者が身をよじる。

「や、やめろ……！ 離せえ！！」

「ふふ。だ〜め」妹は反逆者の口を強引に開くと、ぽたり、と、ほんの一滴の血を、その中へと落とした。

その瞬間、反逆者が声にならない悲鳴を上げる。

恐るべき力に触れて暴走した契約者は、解放されるや否や、仲間を巻き込みながら周囲の破壊を始めていく。

体には亀裂が走り、背中から暗色の翼が広がっていた。

あなたはそれをどう思うだろうか？

いずれにせよ、妹はあなたにこう話しかけてくる。

「お姉ちゃん、あいつをお姉ちゃんの力の練習台に使ってあげて。ちゅーとりある、ってやつ！ わたしからのプレゼントだよ」

あなたはそれにどう返事をするだろうか。

「ほっとけば壊れるだけだよ。もとになんか戻らないんだから」
最終的には、その言葉が後押しになるだろう。

——覚悟を決めたら、戦闘へと移行します。

歪められた反逆者の不凋花データ

初期 HP

20点

フラグメント

4個

想定ラウンド

3~4

フォーカスドクトリン

1

条件：ラウンド1のセット時

対象：配役1

メインドクトリン

メイン1 力に吞まれし一撃

内容

《フォーカス》している剪定者に【ダイスチェック：3個】の攻撃を行います。

描写

膨大な魔力を纏った〈不凋花〉の拳が、あなたへと振りかざされた。亜神となって日が浅いあなたには、それをかわすことができない！

メイン2 歪められた魔術

内容

《予兆》の時点で、《バック》のinのセルと、《フロント》のうち剪定者がいないセルに「プリズムマーカー」を配置します。

《メインドクトリン》の実行時、「プリズムマーカー」のあるセルにいない剪定者に【ダイスチェック：4個】の攻撃を行います。

プリズムマーカー：〈不凋花〉の〈契約魔術〉に似た光の塊。

この《マーカー》のあるセルで《ターン終了》状態となった剪定者は5点のダメージを受けます。

その後、この《マーカー》は消滅します。

まだ人であろうとしているのか、〈不凋花〉は詠唱を口にする。

それによって、人の身ではありえないほどに強力な魔術による光が生み出され、周囲を灼きつくした！

描写

メイン3 砕けゆく身体

内容	剪定者に【ダイスチェック：3個】の攻撃を[1+マップに存在する「プリズムマーカー」の数] 回行います。
描写	暴走を続ける〈不凋花〉はもはや自分の力を制御できない。 周囲を、そして仲間をも巻き込みながら、破壊の魔術を放出し続ける姿を、妹は悠然と笑って見守っていた。

メイン4 人間としての限界

内容	《予兆》の時点で、剪定者に「亜神の加護バッジ」を与えます。 《メインドクトリン》の実行時、自身と剪定者に【ダイスチェック：4個】の《貫通攻撃》を行います。 亜神の加護バッジ ：大切な家族であるあなたへの想い。 この《バッジ》を所持している間、剪定者は常に《ダイスブースト：+2》を得ます。
描写	「お姉ちゃん、そいつもう壊れるよ」体が砕けていく〈不凋花〉を見ながら、妹はあなたの力を増加させていく。 「終わらせてあげるか、勝手に死なせるか、ちゃんと決めてあげてね？」

アフターパート

「亜神姉妹の日常は続く」

この先の展開は、望むように描写できる。

戦闘を終えた後、妹と街を再生し、ショッピングを続けても良い。

人を手にかけてたことにショックを受けたのなら、すぐ家に帰ってもいいだろう。

もし妹と戦うような選択肢を取るのなら——あなたと妹の力の差は歴然なため、勝つことはできない。

けれど、どの選択をしても、妹は優しくあなたに寄り添う。

「きっと全部、大丈夫になっていくから」

心から、あなたへの想いに満ちた言葉で。

亜神となったあなたと、亜神である妹の日常は続いていく。

継続して遊ぶ

《ロスト》しなかった場合、このシナリオで作ったキャラクターを継続して遊ぶことができます。

本書掲載のシナリオであれば、「バーンナウトリブレイズ」(P. 240)で、敵役の〈不凋花〉や亜神狩りの〈剪定者〉を。

「破鏡戦争」(P. 260)で「庇護者」たる〈剪定者〉となることは難しくないでしょう。

次に遊びたい物語のイメージがもし浮かんでいるなら、ぜひあなただけのシナリオを書いてみてください。